

松前町

議会だより

No.88

2016年2月1日発行

愛媛県伊予郡
松前町議会

12月定例会



2P 12月定例議会

4P 委員会ニュース

個人番号カードスタート

指定管理者決まる ほか

13P

一般

質問

- ・新町長の舵取りは
- ・医療費無料化は
- ・統合保育所の整備は
- ・「子育て支援」の具体策は

こんなことが決まりました

12月定例議会は、12月14日から11日間の会期で開かれました。
審議内容の主なものは以下のとおりです。

(特に本会議場で議論になった項目を中心に明記しています)

法律が変わることで条例も改正する必要が

① 法人番号などに関する条例を改正

番号法の規定に基づき法人番号などに関する事項を定めるための整備である。

○改正の主な内容

納付書、納入通知書に番号法に規定する「法人番号」の記載が

不要となる。

そのため、町民税の申請など削除した条項にその根拠を加えた。

(全員一致で可決)

② 個人番号(マイナンバー)に関する条例を制定

⑥⑤ 松前町行政手続きにおける個人番号の利用及び提供に関する条例

○制定の内容

・独自利用の事務
・確定申告、国民健康保険、介護保険、

後期高齢者医療保険に関する事務である。

・庁内連携
町民税に関しての事務などで保有する特定個人情報、

庁内の他の事務に利用する。

★平成 27 年度 12 月補正予算案

一般会計 **9225**万円増額
特別会計 **652**万**2**千円増額

条例 4 件、予算関係 3 件、他議決を求めるもの 5 件、合わせて 12 件の議案が提出され、各常任委員会に付託。

本議会場においても十分な議論を経て、全案件を全会一致または賛成多数で可決した。

(詳細は P4~11 に)

★請願 6 件

請願 6 件を各常任委員会に付託。

十分な議論を行い本会議において、反対多数で不採択となった。

(詳細は P6~8 に)

★後期高齢者医療広域連合議会議員の選出

・白石前町長の任期満了に伴い、後任の議員を選挙するもの。

・本議会において指名推選で岡本靖町長を選出した。

(詳細は P9 に)

・特定個人情報の提供
教育委員会の学校
保健安全に関する事
務で町長部局から特定
個人情報入手する
場合である。

(全員一致で可決)

⑥⑦ 松前町個人番号カードの利用に関する条例

○制定の内容

これまで、住民基本台帳カードで記載している情報を個人番号カードにも多目的利用できるようにするもの。

経過措置を設け「住民基本台帳カードの利用に関する条例」を廃止する。

意見

個人番号カードの独自利用に要する費用が毎年 100 万円の維持費が必要となるが費用対効果を検証し、検討も必要だ。

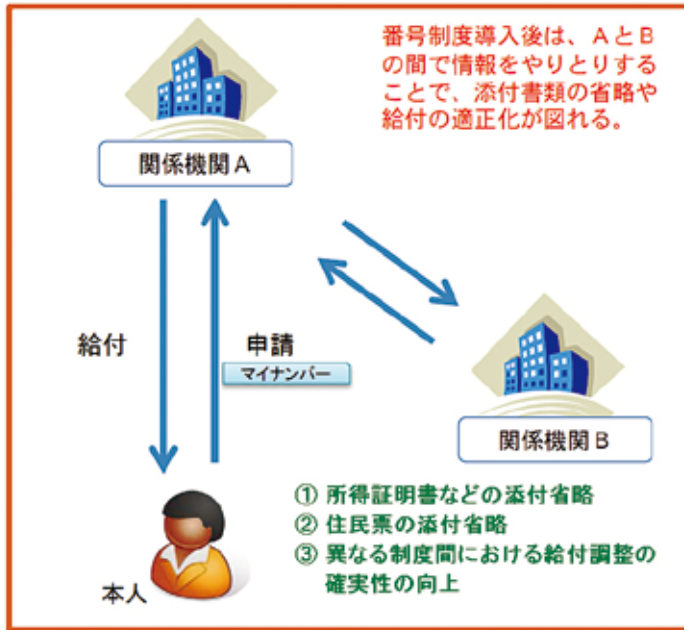
(賛成多数で可決)

②に関連して図示すると

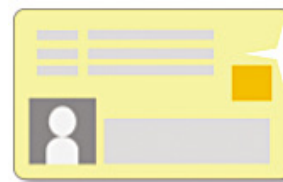
(次ページ)

12月定例会

12/14 ~ 12/24



一枚で様々なサービスを利用



個人番号カード
ICチップに集約



図書カード



印鑑登録カード



〇〇〇〇カード



〇〇〇〇カード

（町が発行する様々なカード）

※既存カードを個人番号カードにまとめることができる

本会議での質疑より

問 町道44号線の伊予市と重複する部分は、JR貨物基地移転に伴う周辺道路整備に係るものだ。

維持管理について、県やJRに管理費の一部負担の要求はできないのか。

答 基本的に法定外公共物は所在する町が管理するものだが、一部負担の打診はしている。

問 委員会における請願採択の可否は、委員全員の慎重な審議が必要では。

答 事前の内容把握を深め審議する必要がある。前向きに検討する。

岡本町長の所信表明

誰もが住んでいることを誇りに思える成熟した「誇れるライフタウン」づくりに全力を尽くします。

第4次総合計画を着実に実施するとともに、次の5つのまちづくりを進めます。

- 1 安全・安心なまちづくり
 - 2 安心して子どもを生み、育てることできるまちづくり
 - 3 賑わいと活力のあるまちづくり
 - 4 みんなで支え合うまちづくり
 - 5 快適で、文化的で、おしゃれなまちづくり
- 広く町民、特に女性の皆様の声をお伺いし「納得」いただける町政を進めます。



★本会議初日と最終日に、自身の思いを発信しました。

計補正予算

委員会 ニュース

予算決算

町道西古泉筒井線

平成29年度中の完成を目指し、
道路整備始まる

問 町道西古泉筒井線
道路整備の進捗状況
は。

答 松前公園北側入口
から交差点までの計
画については、現状
を踏まえ、できるだけ
早く検討を行いた
い。

事業計画では、平
成29年度の完成を目
指しているが、国の
補助額の状況により
進捗状況が変わって
くる。

意見

防災道路でもあり、
現在でも計画が遅れ
ているので、早く避
難道路として使用で
きるよう対応してほ
しい。



町道西古泉筒井線 道路整備スタート

問 選挙人名簿システ
ム改修の内容は。

答 選挙権年齢の引下
げに対応するためシ
ステム改修をするも
ので、改修費用の2
分の1を国費で補助
をしてくれる。併せ
て行う住所要件に関
するシステム改修
は現在、国の補助制
度が決まっていない。
また、これらが適
正に行なわれたかど
うかは、資格を持っ
た職員が確認をして
いる。

問 敬老会イベントの
内容は。

答 敬老の日の月に、
上方漫才などを行
い、高齢者の皆さん
に笑って喜んでもら
える行事を企画して
いる。
また、敬老会は行
政改革により敬老年
金に代わるイベント
として行っている。
来られない方に対
しては、今後、検討
していきたい。



「よいしょー、よいしょー」みんなの掛け声を合わせて♪



子どもたちの安全を確保する防犯カメラ（岡田小学校）

平成27年度 一般・特別会

意見

問 防犯カメラの購入の理由は。
答 くつ箱やかさ立てが、校舎の外に設置されている小中学校の防犯対策として、設置するものである。
意見 子どもの安全、安心を守るためにも早急に設置するようにしてほしい。

問 デジタル移動通信システム委託料の内容は。
答 また、導入費用の総額は。
問 現在、消防団や町職員が使用している災害用無線機は、総務省からアナログ波からデジタル波に移行する方針が示されている。平成28年度までに行えば全額、緊急防災・減災事業にかかる地方債の対象となる。そのため、平成28年度に導入するための設計費である。
答 導入費用は、約1億6千万円を見込んでいる。
問 伊予地区ごみ処理施設管理組合の多額の負担金減額の理由は。
答 耐震工事の延期に伴うものであり、来年度改めて予算計上する。

平成27年度一般会計補正予算概要

■ 予算総額

（単位：円）

区 分	補正前	補正額	補正後	増減率
本年度	97 億 6225 万	9225 万	98 億 5450 万	0.9%
前年度	96 億 8055 万	5114 万	97 億 3169 万	0.5%

■ 松前町一般会計補正予算(第4号) 主要事業

（単位：円）

科 目	項 目	金 額
総 務 費	防災事業	49 万
	選挙一般管理事業	211 万
民 生 費	認定子ども園保育事業	2613 万
衛 生 費	伊予地区清掃センター負担金	△1800 万
土 木 費	町道等維持事業	1668 万
	一般町道等整備事業	570 万
	幹線町道整備事業	1200 万

委員会 ニュース

文教厚生

⑥⑦ 松前町個人番号
カードの利用に関する
条例

要旨

行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づき、個人番号カードに印鑑登録証、住民票などの交付申請書の自動作成と



住基カードは順次廃止し、 個人番号カードの利用へ

ライブラリーカードの機能を持たせるもの。

また、不要となる住民基本台帳カードの利用に関する条例を経過措置を設け廃止するもの。

問

指定管理者の図書館運営では、個人情報漏えいなど危険性はないか。

答

住基カード同様、管理に万全を期す。
(賛成多数で可決)

⑦① 松前総合文化センター並びに松前町ふるさとライブラリーの指定管理者の指定

要旨

今の指定管理者の指定期間が、今年度末で終了するため、新たに平成28年度から5年間の指定について議決をするもの。

問

指定の選定基準は。

答

様々な観点から採点表を作成し、最高点の業者を選定した。

問

契約期間が3年から5年とした理由は。

答

3年間の実績や指定管理者がよりよい運営を行うため、他市町も参考に5年とした。

問

運営の中で問題などはなかったか。

答

大きな問題はなく、毎月の報告会で確認している。
(全員一致で可決)



家族で賑わう多目的広場

⑦② 松前公園の指定

要旨

今の指定管理者の指定期間が、今年度末で終了するため、新たに平成28年度から5年間の指定について議決をするもの。

問

指定管理者により経費削減はいくらか。

答

5年間で約1000万円を見込んでいる。
(全員一致で可決)

注:○囲み番号は、議案番号などを示し、11ページの賛否表と関連しています。

請願第3号
地域医療を守るため病床の確保を求める請願書

◎ 請願者

愛媛県医療労働組合連合会 松本由美子
自治労連愛媛県本部
医療介護評議会
濱田公男

◎ 紹介議員 金澤 浩

◎ 請願者
愛媛県医療労働組合連合会 松本由美子
自治労連愛媛県本部
医療介護評議会
濱田公男

◎ 紹介議員 金澤 浩

高齢者の増加により地域医療や介護の充実が望まれるため、地域の実情を考慮し、医療ニーズに応じた地域医療ビジョンを策定するよう求めるもの。

◎ 審査

年々増え続ける医療費抑制の観点から、病床数の削減はやむを得ない。

また、在宅医療へ移行の方向性も妥当である。

地域が必要とする病床数は確保すべきで、実情に合わない削減は混乱を招くため考えるべきだ。

(不採択)

請願第4号
「介護従事者の勤務環境改善及び処遇改善の実現」を求める請願書

◎ 請願者

愛媛県医療労働組合連合会 松本由美子
自治労連愛媛県本部
医療介護評議会
濱田公男

◎ 紹介議員 金澤 浩

◎ 請願者
愛媛県医療労働組合連合会 松本由美子
自治労連愛媛県本部
医療介護評議会
濱田公男

団塊の世代の高齢化を前に喫緊の課題となる。介護従事者の人材

確保と離職防止のため、国による介護従事者の処遇改善及び人員配置基準の引き上げを求めるもの。

◎ 審査

人員配置基準を引き上げると、人件費が増加し介護保険料が上昇する可能性がある。

介護従事者の処遇悪化は国の方針による介護報酬の引き下げが原因であり、国の責任で改善すべきだ。

(不採択)



誰もが安心な老後を

請願第5号
安全・安心の医療・介護の実現と夜勤改善・大幅増員を求める請願書

◎ 請願者

愛媛県医療労働組合連合会 松本由美子
自治労連愛媛県本部
医療介護評議会
濱田公男

◎ 紹介議員 金澤 浩

厚生労働省による医療従事者の勤務環境改善の取組みが十分な効果を上げていないことから、単なる目標では



今日も元気なお年寄りの皆さん

なく、実効的な数値で、医療従事者の大幅な増員を行うとともに、夜勤などの勤務環境を改善することで、安全・安心な医療・介護の実現を求めるもの。

◎ 審査

国はできる範囲で努力しており、自己負担を削減するための方針も出されている。

医療については、個人負担でやりくりするのではなく、国全体の予算を拡大すべきだ。

(不採択)

請願第6号
「マクロ経済スライド」の廃止と最低保障年金制度の実現を求める請願

◎ 請願者

全日本年金者組合愛媛県本部 湯上一英
全日本年金者組合松前支部 大西信吾
紹介議員 金澤 浩

◎ 論点

高齢者の貧困問題の中、マクロ経済スライドによる実質的な年金の削減を取り止め、全額国庫負担による最低保障年金の実現を求めるもの。

◎ 審査

少子高齢化が進む中、年金制度を維持し、現役世代の負担軽減のために、将来的な見直しによるマクロ経済スライドは必要な制度だ。財政状況を見ると全額国庫負担によるこの制度は難しい。財源運用の失敗が年金削減の原因で財源破綻の先送りだ。この制度は20ヶ国以上で採用され試算上も可能だ。

(不採択)

委員会 ニュース

総務 産業建設

⑦5 松前町道と伊予市道とが重複する部分の道路の管理

要旨

道路法の規定により、松前町の道路と伊予市の道路が重複する部分の管理の方法は協議により松前町とするもの。

松前町の道路が一部伊予市と共有に



町道東44号線地下道の整備状況

問 この件について伊予市側の状況は。

答 伊予市議会において道路の管理について議決済みである。

問 道路の瑕疵により事故が起きた時の対応は。

答 責任については

両市町にあり、費用は折半となる。
(全員一致で可決)

☆「瑕疵」って？

法律上、何らかの欠点・欠陥があること。

請願第1号
政府による米価下落対策を求める請願書

◎ 請願者

国民の食糧と健康を守る運動愛媛連絡会

◎ 会長 村田 武

◎ 紹介議員 金澤 浩

論点

米価は需給のバランスで労賃、物財費さえ確保できない状況にある。

今後TPP交渉による外国産米の輸入拡大により更に米価暴落が予想される。

そのため米価

決定の市場ま

かせを止め、

米の需給と価

格の安定に国

が責任を持つ

て取り組むことを求めるもの。



審査

TPP交渉の結果は、農家にとって重大な問題だが、国全体で判断する必要がある。農家だけが優遇されても問題解決にはならない。

経営規模の拡大、米

飯の推進、消費拡大な

どで国も米価対策を行

っている。自由経済

においては市場価格に

委ねるべき。

農業においては、T

PPとは別の視点で、

国が責任を持つて政策

を確立すべき。

(不採択)

請願第2号

TPP交渉「大筋合意」は撤回し、調印・批准しないことを求めることについて

◎ 請願者

国民の食糧と健康を守る運動愛媛連絡会

◎ 会長 村田 武

◎ 紹介議員 金澤 浩

論点

TPP交渉における大筋合意は、国会の決議に反している。その詳細について国会と国民への説明を行い、国民的な議論を保障すべきだ。

よって、合意については撤回し、協定書への調印・批准は行わないことを求めるもの。

審査

大筋合意と協定書本文の開示は、議論を保障するために当然だが合意の撤回は、今の日本の立場から難しい。

(不採択)

☆「批准」って？

条約に同意すること。

条例の制定

・改正

⑥4 松前町税条例等の改正

改正

○改正内容

番号法の規定により法人番号などに関する事項を変更した。

⑥5 松前町行政手続き

における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例

○内容

行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づき行政サービスの向上や、事務の効率化を図る上で必要となる場合に、個人番号を町独自に利用できるように規定した。

⑥6 松前町介護保険条例の改正

改正内容

○改正内容

保険料の徴収猶予申請記載事項と保険料の免税申請書の記載事項に個人番号などを追加した。

人事案件

●愛媛県後期高齢者医療広域連合協議会員の選出

白石前町長の任期満了に伴う後任の議員を選挙するもの。

岡本靖町長を指名推選で選出した。

その他

⑦1 松前総合文化センター並びに松前町ふるさとライブラリーの指定管理者の指定

指定管理者
株式会社ケイミックス
指定期間
平成28年4月1日～
平成33年3月31日

指定管理費（5年間）
3億2424万8千円

⑦2 松前公園の指定管理者の指定

指定管理者
イヨテックエーター
サービス株式会社
指定期間
平成28年4月1日～
平成33年3月31日
指定管理費（5年間）
1億6200万円

⑦3 松前町道路線の廃止

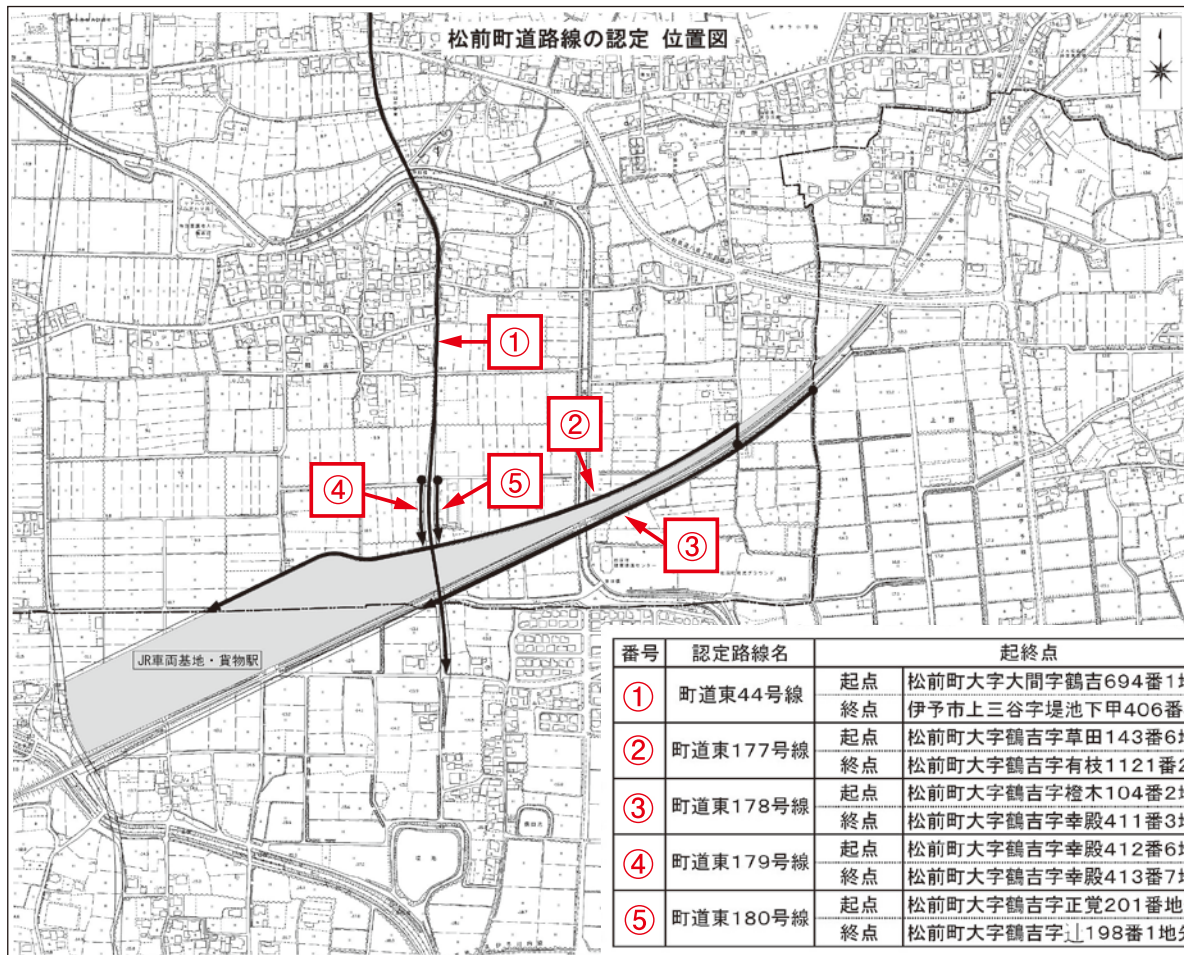
○内容
町道東44号線を伊予市の区域に伸ばして、町道として新しく認定するため、現在の道を廃止するもの。

⑦4 松前町道路線の認定

○内容
町道東44号線及びJR車両基地・貨物駅周辺整備に伴い、整備した道路を町道として認定するもの。
(町道東44号線・東

177号線・東178号線・東179号線・東180号線

松前町道路線の認定 位置図



研修報告

議会広報

常任委員会

10月20日～10月21日

研修地

東京都千代田区

シエーンバツハ・

サボー（砂防会館）

研修目的

より読んでもらえる
質の高い議会広報紙を
目指す。

研修内容

全国214町村議会
から、千人を超える議
会広報関係者が集ま
る。

1日目

講演

「議会だよりを伝
える広報から伝わる
広報へ」

「思わず手に取る
読みたくなる議会だ
よりを目指して」

なぜ文章がわかり
にくいのか、わかり

2日目

やすく書くテクニッ
ク、伝わる文章の書
き方など、実際の事
例を交えながら詳し
く聴くことができた。

「2014年度議
会広報コンクール1
位と2位の広報紙を
クリニック」

発行の目的や方針
など、実際の広報委
員の話 exchanges、質の

●所感

高い広報紙への取り
組みを学ぶことがで
きた。

☆伝わる文章とは

1文30字以内で書く。

☆わかりやすい文章とは
先に結論、結果。そ
の後に理由、経緯を。

☆読みたくなる文章に
するには

Iメッセージでなく
YOUメッセージで。



フレッシュなメンバーでいざ出発!

広報とは、双方向性
のあるコミュニケーション
だと理解ができた。
改めて広報紙の重要
性を認識した。

●今後の課題、検討事項

☆発行の目的、編集方
針、基本事項などをも
う一度確認する。

☆文章や写真のアドバ
イザー制度・モニター
制度の活用を検討する。

☆広報に対する懇談会
や議員全員による意見
交換会の充実などが伝
わる広報紙にする。

☆住民目線を大切に改
革していく。

四国地区町村議会議長会 研修会に参加して

日時 10月23日(金)

場所 徳島県徳島市

徳島グランヴィ

リオホテル

講演

「日本はどう動いて
いるのか」

講師 後藤 謙次氏

約1時間半かけて、
現在の安倍内閣の動向
と経済、更にはTPP
を絡めた国際情勢の行
方についての講演で
あった。後藤氏独自の
視点でわかり易かつ
た。

講演

「神山プロジェクト・
創造的過疎から考え
る地方創生」

講師 大南 信也氏



大南氏

過疎をマイナス要因
からプラス思考へと展
開させていく。時には
アイデアキラをいか
に蹴散らして前に進ん
でいくのか、興味深い
話だった。

空き家を若者が集え
て従来の住人とコラボ
できる拠点にして、事
業化していく先進事例
の紹介でもあった。

💡
ダメな理由より、
トライする勇気を!



12月定例議会

提出議案及び請願への 各議員 賛否表

※ ○賛成 ●反対 ー議長

議員名 議案番号など・議案名			住田	田中	金澤	影岡	稲田	城村	村井	藤岡	加藤	八束	岡井	早瀬	三好	伊賀上
			英次	周作	浩	俊範	輝宏	トキ子	慶太郎	緑	博徳	正	馨一郎	武臣	勝利	明治
請1	政府による米価下落対策を求める請願書	不採択	●	●	○	●	●	●	●	●	●	●	—	●	●	●
請2	TPP交渉「大筋合意」は撤回し、調印・批准しないことを求めることについて	不採択	●	●	○	●	●	●	●	●	●	●	—	●	●	●
請3	地域医療を守るため病床の確保を求める請願書	不採択	●	●	○	●	●	●	○	●	●	●	—	●	●	●
請4	「介護従事者の勤務環境改善及び処遇改善の実現」を求める請願書	不採択	●	●	○	●	●	●	●	●	●	●	—	●	●	●
請5	安全・安心の医療・介護の実現と夜勤改善・大幅増員を求める請願書	不採択	●	●	○	●	●	●	●	●	●	●	—	●	●	●
請6	「マクロ経済スライド」の廃止と最低保障年金制度の実現を求める請願	不採択	●	●	○	●	●	●	○	●	●	●	—	●	●	●
64	松前町税条例等の一部を改正する条例の一部を改正する条例	可 決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○
65	松前町行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例	可 決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○
66	松前町介護保険条例の一部を改正する条例	可 決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○
67	松前町個人番号カードの利用に関する条例	可 決	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○
68	平成27年度松前町一般会計補正予算(第4号)について	可 決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○
69	平成27年度松前町介護保険特別会計補正予算(第2号)について	可 決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○
70	平成27年度松前町公共下水道事業特別会計補正予算(第3号)について	可 決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○
71	松前総合文化センター並びに松前町ふるさとライブラリーの指定管理者の指定について	可 決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○
72	松前公園の指定管理者の指定について	可 決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○
73	松前町道路線の廃止について	可 決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○
74	松前町道路線の認定について	可 決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○
75	松前町道と伊予市道とが重複する部分の道路の管理について	可 決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○

4議員が登壇

◆赤字項目は、本文で紹介しています。

藤岡 緑 議員 (13ページ)

- ◆新町長の松前町政に向けての舵取りは
- ◆マイナンバー番号通知における現状と対応は
- ◆高校生議会の開催は
- ◆女性が安心して働ける職場環境づくりを

村井 慶太郎 議員 (14ページ)

- ◆本町の舵取り役としての方向性は
- ◆義務教育終了までの医療費無料化は

金澤 浩 議員 (15ページ)

- ◆松前・宗意原統合保育所の整備は
- ◆農水産業の振興は
- ◆子育て支援策に関して
- ◆原子力災害対策に関して

影岡 俊範 議員 (16ページ)

- ◆少子化対策としての「子育て支援」の具体策は
- ◆「教育の町」を唱えるなら誰にも平等な機会が必要では
- ◆ワンストップサービスについて
- ◆教育の町宣言の宣揚

一般質問とは・

- ・ 議員が町の行政全般について質問し、町長や部長などが答弁するものです。
- ・ 議員一人あたりの発言時間は45分以内です。
- ・ 登壇は、通告書（質問内容を要約した書類）の提出順に行われます。

いっぱん
質問

町
政
を
問
う



この窓口は2月より稼働します



藤岡 緑 議員

新町長の松前町政に向けての舵取りは

5つのまちづくりで町を誇れるライフタウンに

問

- ① 選挙時に表明された公約実現に向けて今後どのような姿勢で取り組むのか。
- ② 長期的視点で、松前町をどのような町に導いて行くのか。また、決意の程を伺う。

町長

- ① 白石町政のクリーンな精神をしっかりと受け継ぎ町をさらに発展させ、誰もが住んでいくことに誇りを持てるライフタウンにすること。この実現に向けて5つのまちづくりを目指していく。
- ② 快適で文化的でおしゃれな街にしていくな事が重要。それには女性の感性が必要。来年度予算で『街づくり女性会議』を予定している。私の信念は、「逃げない・ぶれない」こと。今後とも全身全霊でまちづくりに取り組んでいく。

問

- ① マイナンバーの住民への番号通知における現在の状況とその対応は。
- ② 今後起こりうる問題の解決策は。

町民課長

- ① 通知カード配達後、不在などで返戻され、町が保管しているカードは、その理由により対応。単なる不在の場合、受け取りに来て頂きたい旨の通知を出し、住所不明の場合は、
- ② 個人情報保護や制度全体への理解に向け、丁寧な説明に努めていく。

マイナンバー番号通知における現状と対応は丁寧な番号制度の説明で円滑な事務処理を



村井 慶太郎 議員



すくすくと大きく元気に育ってね!

本町の舵取り役としての方向性は

白石町政のクリーンな精神を受け継ぐ

問

本町では合併60周年を迎え、えひめ国体も控えている。また、第四次総合計画の継続、県議不在などさまざまな問題が山積しているが新町長の舵取り役としての方向性を問う。

町長

白石町政のクリーンな精神をしっかりと受け継ぎ、若い母親世代に住んでみたい、選んでもらえるような松前町にしていきたい。とりわけ人口減少対策に力をいれ、子育て支援の拡充や快適で文化的でおしゃれなまちづくりに特に力を入れていきたい。また、まちづくりに当たっては、町民の声にしっかりと耳を傾け、住民目線で町民の皆様に納得していただける町政を進めていき、女性の能力の活用も図っていきたい。

義務教育終了までの医療費無料化は

平成29年1月の実施を目指す

問

少子化が進む中、安心して子どもを産み育てることができる町とスローガンを掲げている新町長である。義務教育終了時まで子どもの医療費の無料化を進めてはどうか。

町長

子どもの医療費助成制度は、基本的には国の制度として実施するべきものと考えているが、国の動向が不透明である。人口減少対策のための子育て支援策として拡充が急務である。そのため、子育て家庭の利便性を考え、医療機関に受給証を提示する方式により、町独自に義務教育終了までの医療費の無料化を平成29年1月を目途として具体的な準備を進めていきたい。



『新・おたたさん!』“まさきの味”を全国へ!



金澤 浩 議員

松前・宗意原統合保育所の整備は

緊急防災対策事業債などの活用で、財政的に有利

問

- ① 北黒田に移転するが、保護者の同意は。
- ② 借地代が30年間で約2億円。土地購入の方が安価では。決定の経緯を伺う。
- ③ 運営は直営か、認定子ども園か。今後の見通しと町の考えを伺う。

保健福祉部長

① 保護者、地域ともに反対意見なし。理解を得たと認識。

② 財源として、借地の固定資産税収入と緊急防災対策事業債の活用ができるため、財政的に有利と判断。また、インフラ整備が整った土地のため、早期着工が可能な点や保

護者が送迎時にアクセスが容易な道路があるなどの環境面や防災上の優位性も選定の理由。

③ 保育所として町が運営する。認定子ども園は、保育の必要性の有無にかかわらず受け入れができる。住民ニーズを踏まえ、移行することも検討したい。

農水産業の振興は

商業との連携が鍵 松前ブランドの創造

問

- ① 町内で、TPP(環太平洋戦略的経済連携協定)の影響が、どれくらい出ると町は調査しているのか。
- ② 町長の選挙公約にある農水産業の振興は、どのように取り組むのか考えを伺う。

町長

① 算定していない。

② 認定農業者や農業生産法人の育成、新規就農者など担い手確保を推進。農地中間管理機構を活用した生産性の向上について、国や県の各種施策を活用し進めていく。

平成25年度に漁業経営の安定と活性化(ハモ加工機購入支援)を図り、ブランド化を推進。また、漁協と消費者を結ぶ、みなと祭り開催も支援。引き続き、漁業環境の整備や経営体制充実の支援を行う。



影岡 俊範 議員



きらきらナビアプリのQRコード（愛媛県ホームページより）

少子化対策としての「子育て支援」の具体策は

総合戦略の二番の目標として切れ目のない支援を推進

問

① 地方創生総合戦略の「子育て支援」の具体策は。

② 子育て世代への有効な情報伝達の手段スマホ・アプリは。

町長

① 人口減少を克服するため、現在松前町の総合戦略の策定を進めている。目標の一番目の少子化対策は、結婚か

ら子育てまでの切れ目のない支援の実施、経済的支援の充実、地域で子どもを育てる環境づくりを推進していくことだ。
※具体策として
Ⅰ 保育所の統合と老朽化した施設の計画的かつ効率的な整備の実施
Ⅱ 小学校6年生まで受け入れ児童クラブの整備
Ⅲ 子ども医療費助成の学校までの拡充
Ⅳ 公園遊具の設置により子どもの遊び場を確保
Ⅴ 大型商業施設などを利用した出会いの場の創出

福祉課長

② 12月24日より県の開発したアプリが運用開始。町の子育てサイト、マッキー子育て応援隊は5月に開設している。

「教育の町」を唱えるなら誰にも平等な機会が必要では

町長・教育委員会で教育大綱を策定 今後の方向性を示す

問

「教育の町」をうたうわが町では、子供たちの教育の機会が失われることは、絶対にあってはならない。

① 放課後総合プランの推進は。

② 無料塾の開設は。

教育委員会事務局長

① こども教室と児童クラブの両者の連携一体化を進めるものであり、現状は放課後児童クラブの整備で対応したい。また、共通プログラムの充実を図る事で総

合的な放課後対策に取り組む。

② 例に挙げた徳島県2町の実情と異なり、生徒数や塾に通う児童数が多い。また、指導者、実施場所などの課題で松前町にはそぐわない。

町民の声

岡本新町長に期待！

神崎 ねえちゃんず

★私は、松前で育ち、岡田に住み、結婚して北伊予住民となりました。子どもたちは、保育所・学童保育・スポーツで育てて頂き、父は、特養でお世話になっております。★そんなこんなで、松前町には特別の思い入れがあります。

そんな『松前町大好き人間』な私ですから、どうしても岡本新町長への期待が大きくなってしまう。★県庁で培われた豊富な経験に基づき、白石前町長が実行されたクリーンな政治をしっかりと引き継いで頂き、町民の声を幅広く聞いて、本当に必要なところに、必要な施策を、是非ともお願いしたいと思います。★そこで新町長に提案です。

松前町では三地区のそれぞれが、そのまま小学校↓中学校に進学し9年間、共に育ち、友情を育みます。このような進学の仕方は、他ではあまり無いと聞きまして、この利点を活かして、特色のある思い切った教育策を打ち出して頂きたいと思うのです。★小中の連携を更に強める、視聴覚教育に力を入れる…などソフト面もハード面も充実させて頂ければ嬉しいですね。★素晴らしい教育がある所にこそ、若い夫婦が、そして人が集まるはず。★もちろん、教育には資金も時間もかかることでしょう。でも、松前の将来を見据えるのならば、思い切った英断を、と願って止みません。★『教育の町』の名に恥じない、本当の意味での誇れる、ライフタウンを目指して！

「町民の声」をお寄せください

ご意見・ご要望などをお寄せください。

次号議会だよりの掲載の締切りは2月末です。

投書多数の場合は、委員会において掲載文を決定させていただきます。あらかじめご了承ください。

【宛先】
松前町筒井631
議会広報常任委員会
「町民の声」
Fax 985-4148
E-mail :
500gikai@town.masaki.ehime.jp

(400字程度で必ずお名前・ご住所・ご連絡先・ペンネーム(希望する場合)をお書きください。)

傍聴席

松前町議会を

傍聴して

徳丸 渡部恵美

初めての議会傍聴。ひとりでは心細く同じく初心者友人を誘い臨んだ。受付を済ませ、吹き抜けで、思ったよりも広くて立派な議場2階の傍聴席に座る。凛とした空気の中、町長をはじめとする事務

局が並び、対面して14名の議員が着席する。岡本新町長の挨拶もあつてか傍聴席に空きはない。議員のみならず傍聴の方も熱心にメモを取っている。興味本位で来ている自分が恥ずかしい。議題は、すべて私たちの住む松前町の事柄であり、とても身近で興味深く、議員も事務局も真摯な態度で明瞭に質疑応答を行っており、あつという間に時間が過ぎた。

私たちの町の未来がこの場で決められている。傍聴に来て議会の重大さを初めて知った。町民のひとりとして、議会傍聴が町政を知る第一歩となることを痛感した。

で熱く語る自分がいた。後日、インターネットでも町議会のライブ中継が行われていることも知る。お茶の間において、町政が見て取れるのだ。今年は申年、見て、聞いて、言って行こう!と思っている。



傍聴のご案内

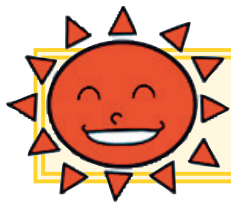
住所・氏名・年齢を届けるだけで、どなたでも傍聴できます。

議会は、本会議と各常任委員会に傍聴席を設けて公開しています。

多くのみなさんの傍聴をお待ちしています。(次回は3月上旬～中旬の予定です。)

本会議は、町ホームページでライブ中継を行っています。また、議会終了後、録画配信も行っています。ご覧ください。





松前町で生きる & みんなで支える

若い力で地域農業に明るい未来を

徳丸地域に若手農業経営者として頑張っている姉弟がいます。

幼い時から農業の手伝いをしながら育ちました。お互い〇〇、会社員として働いた時期もありましたが、農業に対する想いが募り4年前から専業農家として農業経営に入りました。今では4.5haの耕作地に、米、麦、ブロッコリ、ネギ、ナス、ソラマメなど栽培し、農業改善計画認定者として、地域農業を支えています。

将来は10haに耕作地を広げ、地域の手助けになればと朝4時起きで、野菜作りに奮闘しています。

二人とも独身なので、伴侶募集中です。
♡ぜひ一緒に農業経営をしませんか。
お待ちしております♡とアピール!!



認定書を持ってニッコリ

まちの話題

松前のミライモンスター

★「おはようございます」寒空の下、スティックを片手に子どもたちが松前小学校グラウンドに続々と集まっています。

★ここは『松前ホッケークラブ』。平成17年に始まった「松前ホッケー教室」が前身で松前町内全域の小中学生が主体となっています。

★現在、約45名がボランティアの監督・コーチの指導のもと毎週土曜日、練習に励んでいます。

★低学年でもスティックの小さな先で器用に球を操り、ゴールをめがけます。

★目指すは平成29年の「えひめ国体」。松前町はこの国体のホッケー会場になっています。



★猛練習のかわいがあって中学生は昨夏の新潟県で開催された全国中学校ホッケー大会でベスト16。小学生も毎年大会へ出場し、技に磨きをかけています。

★中学生は、えひめ国体時にはちょうど高校生。国体の中心メンバーとなって活躍してくれることを期待しています。

編集後記

本年は申年、成長から成熟の段階へと移行していくといわれ、社会が活性化し、物事が進展していくとされます。物事をしっかりと見極め、積極的に活動していくことで大きな成果を得られる1年となります。

議会広報も、編集の充実・向上に向け積極的な活動を展開し、町民の皆様へ『伝える広報』から『伝わる広報』へ成熟する1年にしていきたいと思っています。

(田中 周作)

議会広報常任委員会

委員長	八東 正
副委員長	藤岡 緑
委員	稲田 輝宏
委員	影岡 俊範
委員	金澤 浩
委員	田中 周作
委員	住田 英次



この広報紙は、資源保護と環境に配慮して大豆油インキ、再生紙で作成しています。